

NPO法人住環境デザイン協会

～中古住宅に関する多様な相談への相談窓口～

【事業実施の背景】

- 1970年代の住宅団地造成から40年を超え、入居者の高齢化や、住み替えによる空き家が増加
- 官民双方に住宅に関する相談窓口はあるが、それぞれに課題や限界があり、多様な相談に応えきれていない

【事業の特徴】

- 広島住まいの情報相談センターを拡充し、中古住宅所有者及び中古住宅の取得や賃貸を希望する市民からの相談に幅広く対応
- DIYリフォームアドバイザー資格認定講座等のセミナーやDIY型賃貸借の普及に向けた研究の実施

総合相談窓口

■ 相談窓口の設置場所

広島住まいの情報相談センター

■ 相談対象者(内容)

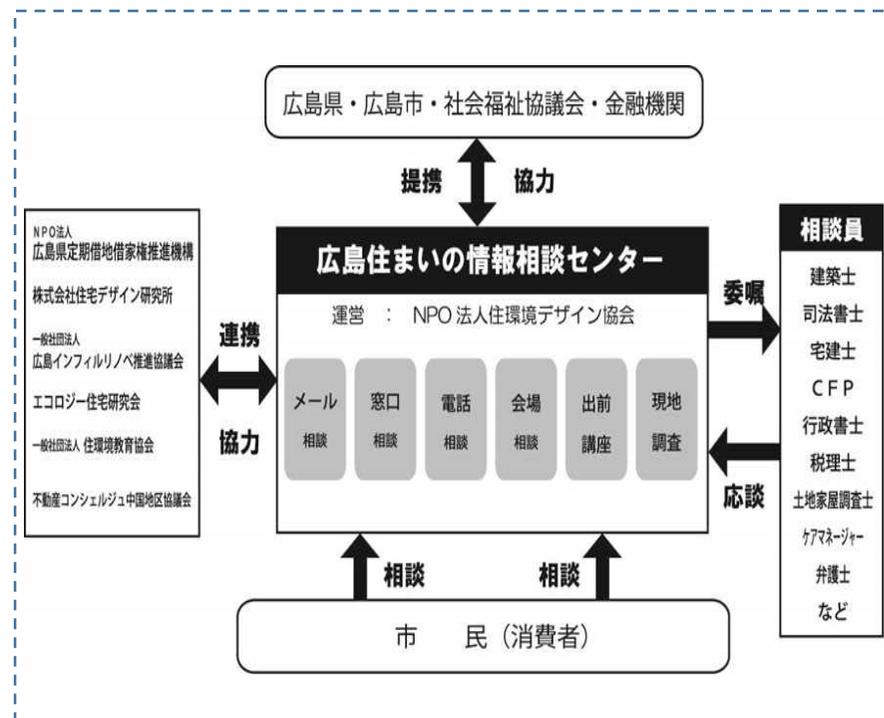
- 中古住宅の所有者(売却、賃貸化、リフォーム等)
- 中古住宅の取得希望者(資金計画、サブリース等)

■ 特徴

- 既設の広島住まいの情報相談センターを拡充
- 広島広域都市圏20市町へのヒアリングにより、空き家バンクの運用状況や移住定住施策など、地域の現状や課題等を把握
- 広島市と「広島市の住宅団地の活性化に関する協定書」を締結し、相互に連携・協力

その他のモデル的な取組

- 中古住宅の有効活用に資するニーズ把握やリフォームモデル等の検討
- DIYリフォーム入門講座やDIYリフォームアドバイザー資格認定講座等の開催



実績(平成28年度～平成29年度)

■ 総合相談窓口

	平成28年度	平成29年度
対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談	6件	14件
対象地域内への住替又は移住検討者からの相談	14件	21件
地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談	7件	11件
その他	15件	30件

- DIYリフォームアドバイザー資格認定講座(2回) 参加者:65名/ DIYリフォーム入門講座(2回) 参加者:83名
- 空き家の利活用セミナー(2回) 参加者:56名(平成28年度)
- DIYリフォーム活用セミナー(2回) 参加者:104名(平成29年度)

事業の成果

- 相談内容の拡充や広島市との連携強化およびセミナー等の継続実施により市民に周知され、前年度を上回る相談実績を確保
- DIYワークショップでのノウハウを踏まえたDIYの施工方法に関するマニュアルを作成

今後の課題

- 補助終了後の運営費(相談料の要否、相談員の人件費・交通費等)の確保
- 行政や地区社協、町内会との連携強化
- DIY関連の人材育成、普及啓発や、住宅以外の用途(カフェ、民泊等)へのDIYの適用ノウハウの確立

今後の事業展開

- 協会会員からの年会費やNPO法人の収益活動により運営費を確保し、相談窓口を継続実施
- 相談内容や相談体制の充実に向けた地域の各種団体との新たな連携の検討
- DIYリフォームの普及啓発やDIYリフォームアドバイザー資格制度の展開